

1. アクションプラン策定の背景

■ 上位計画に基づく先導的なまちづくりの検討

中央市に近接するリニア中央新幹線に加え、中部横断自動車道などの高速交通体系の整備により、首都圏や中京圏との人の交流や物流の拡大が見込まれ、幅広い波及効果が期待されています。

このような背景を踏まえ、平成29年に「中央市リニア活用基本構想」を策定し、リニア開業を見据えたまちづくりの基本的な考え方などを整理しました。

平成30年に「第2次中央市長期総合計画」を策定し、土地利用の基本方針において本市の将来像や長期的な発展を見据えた機能的で秩序ある土地利用の形成を推進していく方針のもと、令和2年に「中央市都市計画マスタープラン」を改定し、「新たな計画的市街地整備の検討が望まれるゾーン」として2つのエリアを「土地利用転換検討ゾーン」に位置づけました。

恵まれた立地条件を活かし戦略的かつ先導的にリニア中央新幹線の開業に伴う様々な波及効果（産業の振興、雇用の創出、地域の活性化、移住・定住の促進、にぎわいの創生など）を最大限享受できるように、中央市まちづくりアクションプランを策定しました。

- リニア開業を見据えたまちづくりの基本的な考え方

中央市リニア活用基本構想
(平成29年3月策定)

- 機能的で秩序ある土地利用の形成を推進

第2次中央市長期総合計画
(平成30年3月策定)

後期基本計画 (令和5年3月策定)
※「土地利用転換検討ゾーン」の戦略的・先導的なまちづくりのあり方の検討を推進

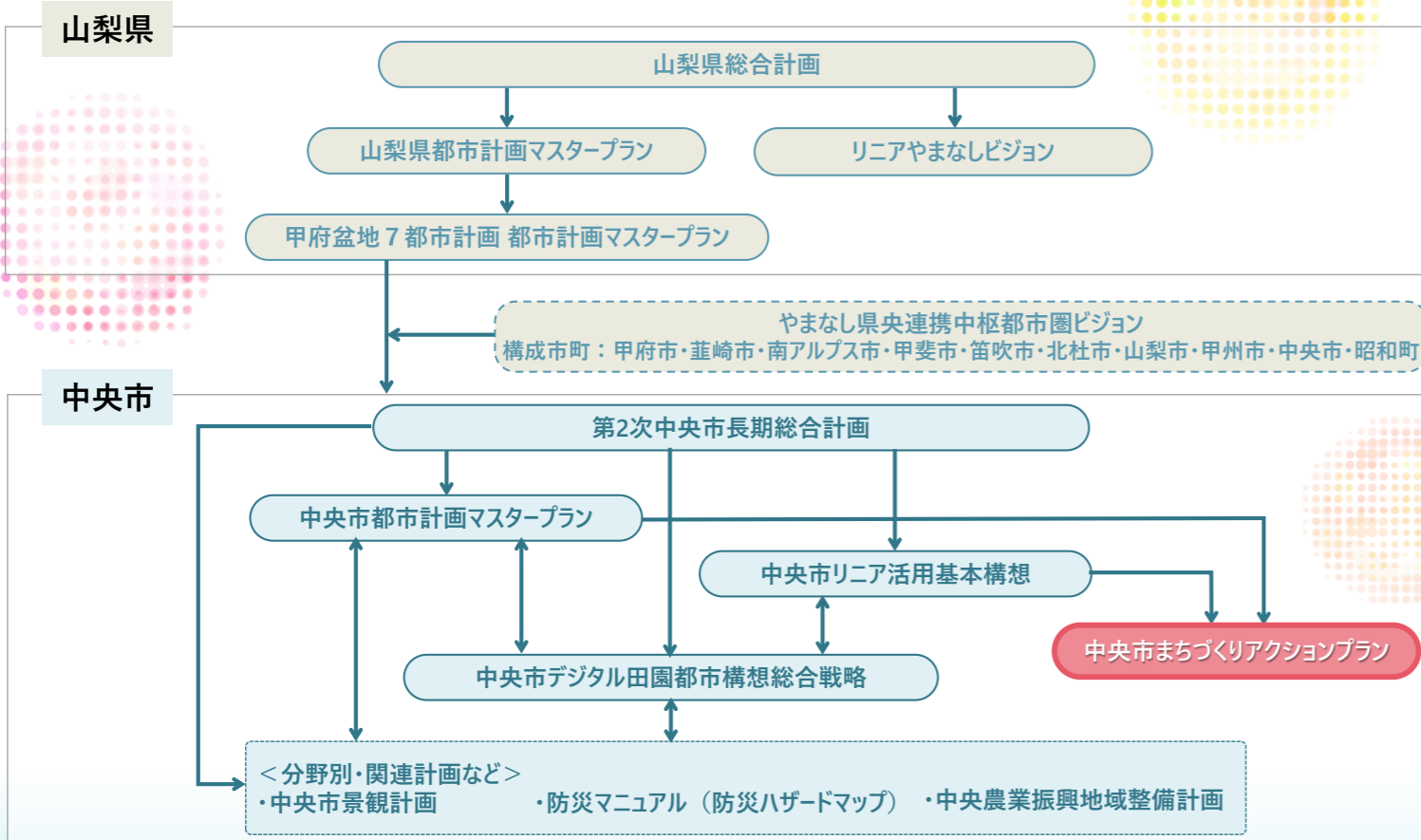
- 「土地利用転換検討ゾーン」の設定

中央市都市計画マスタープラン
(令和2年11月改定)

- 「土地利用転換検討ゾーン」の目指す姿・その実現に向けた行動計画

中央市まちづくりアクションプラン

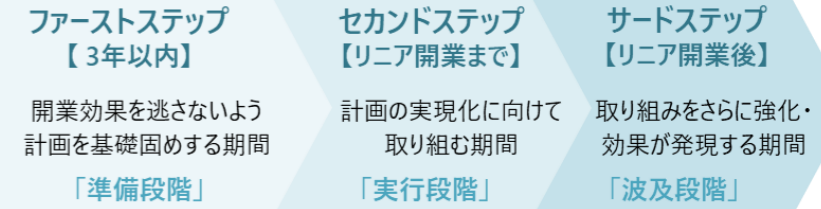
2. アクションプランの位置づけ



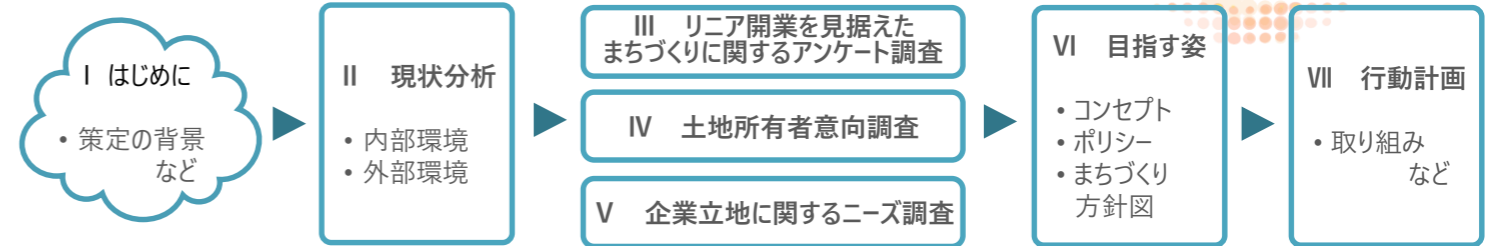
3. 目標年次 (ロードマップ)

目標年次を3つのステップに区分し、それぞれの時期に適した効果的な取り組みを進めていくことを目指します。

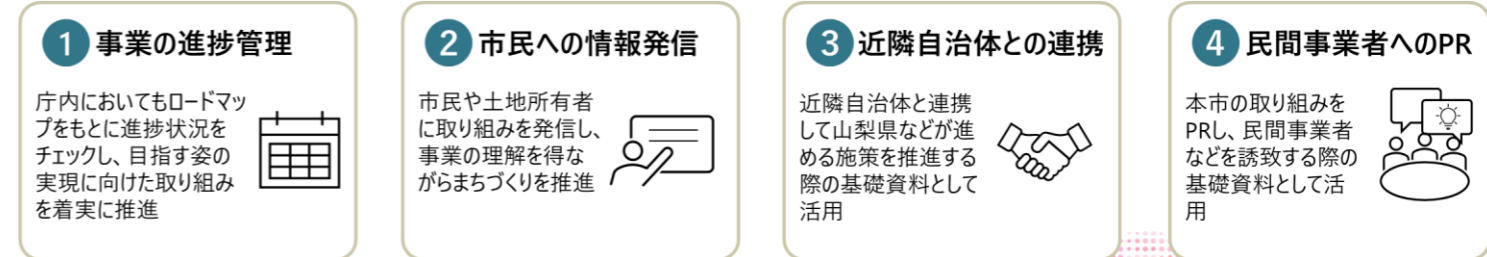
リニア開業が2027（令和9）年以降という流動的な状況を考慮する上で、国および県、市の施策との連携を見据えながら、**まずは3年を目安として短期的な取り組みを優先させ**、今後、リニア開業時期や社会経済状況を鑑み、必要に応じて本プランを適宜見直していくこととします。



4. アクションプランの構成



5. アクションプランの活用イメージ



6. コンセプト・ポリシーの位置づけ

本市のポテンシャルを踏まえ、検討ゾーンの目指す姿を示す『コンセプト』と、目指す姿の方針を示す『ポリシー』を設定し、ポリシーについては、「中央市リニア活用基本構想」（リニア開業を見据えたまちづくりの基本的な考え方などを整理）の3つの柱である【交流】【暮らし】【活力】の視点で整理しました。



7. コンセプト・ポリシー（目指す姿）

交流と活力が織りなす 彩り豊かな“産業未来都市”中央市

交流が
生む彩り

民間活力の導入も見据え、地域のシンボルとなる交流機能を核に、周辺との機能連携・相互補完によるにぎわいと交流を生み出すまちづくりを目指します。

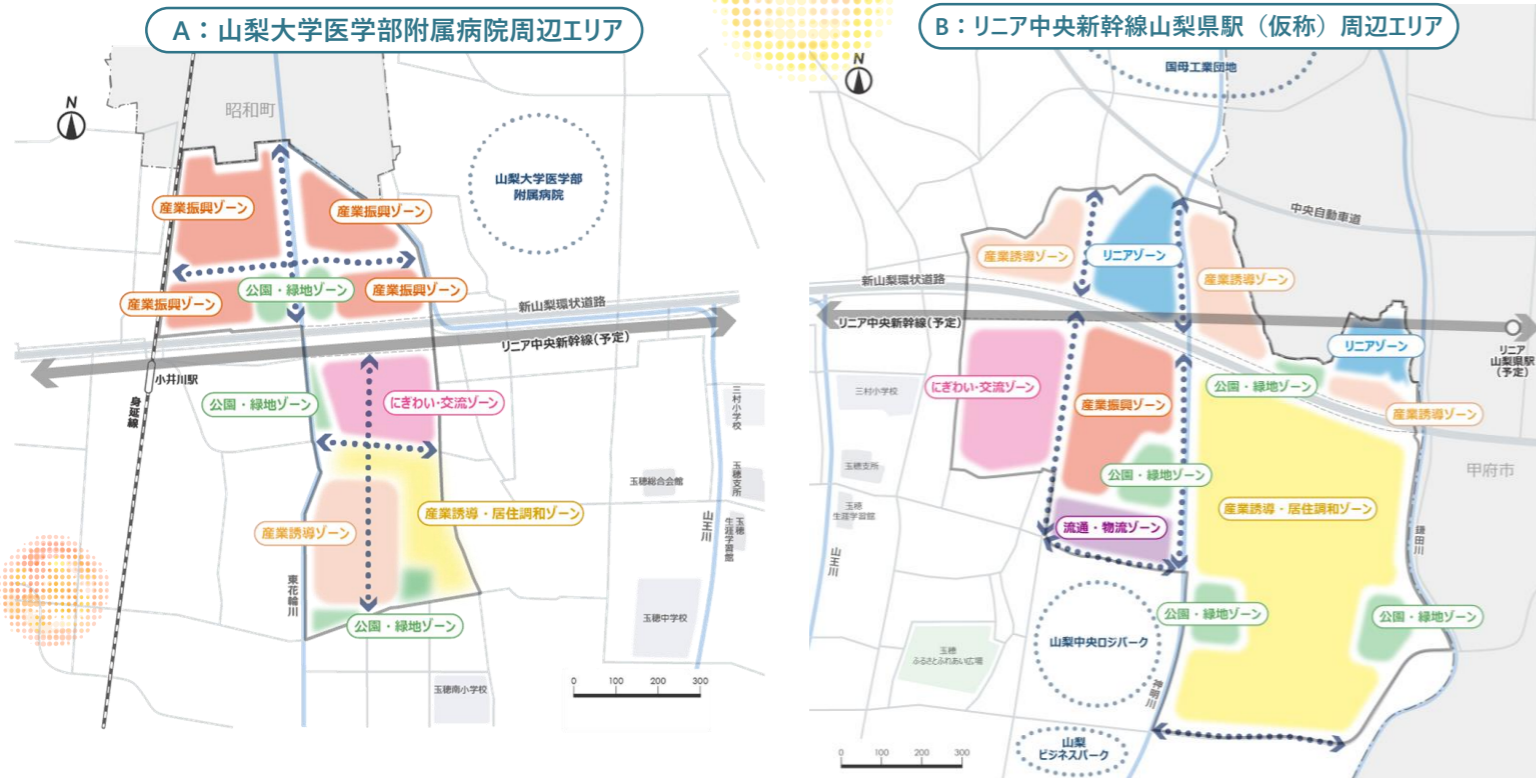
暮らしが
生む彩り

山梨大学医学部附属病院と連携し、医療意識の高揚を図ることによる健康づくり、田園や山並み風景とも調和した環境形成による心の安らぎ、脱炭素社会への貢献による持続可能な未来への安心を築くことで暮らしの満足度を向上させ、市民のウェルビーイングを高めるまちづくりを目指します。

活力が
生む彩り

リニア山梨駅と山梨県の米倉山次世代エネルギーシステム研究開発ビルディング「Nesrad（ネスラド）」との中間に位置する立地ポテンシャルを活かして、周辺の工業団地とも一体となった産業振興のまちづくりを目指します。

8. まちづくり方針図



凡例	ゾーン名	主なまちづくり方針	凡例	ゾーン名	主なまちづくり方針
	にぎわい・交流	幹線道路沿いである特性や既存市街地との連担性を考慮して、日常的な利用や交流人口の拡大を促す商業・レジャー機能を誘導するゾーンなど		産業誘導・居住調和	既存集落との調和を図りながら、企業ニーズにより産業の誘導を図るゾーン（都市計画法第34条条例の予定指定区域）
	産業振興※Aエリア	山梨大学医学部附属病院に隣接する立地特性から、主にメディカル・ライフサイエンス系の産業振興を促すゾーンなど		流通・物流	山梨中央ロジパークと連携した流通・物流ゾーン
	産業振興※Bエリア	南側に位置する山梨ビジネスパークや山梨中央ロジパーク、北側に位置する国母工業団地との連担性を考慮した産業振興を促すゾーンなど		リニア	リニア中央新幹線の保守基地などとして計画されているゾーン
	産業誘導	企業ニーズや周辺の開発需要に応じて産業の誘導を図るゾーン		公園・緑地	地域住民の交流を促すとともに、公園、緑地、雨水抑制施設の整備を検討するゾーン（ただし、開発需要、事業手法に応じて整備位置を検討）
				主要道路	

9. 行動計画一覧

まちづくりのコンセプト及びポリシーを設定し、特に重視するポイント〔強み×機会〕*を重点項目として分野別に整理しました。目指す姿の実現に向けて、優先的に進める地域未来投資促進法を活用した取り組みのほか、整理した7つの分野別に行動計画をまとめています。

取り組みの時期については、3に示す目標年次（ロードマップ）の考え方に従い、まずは、リニア開業を逃さないように、ファーストステップ〔準備段階〕として3年を目安に取り組みを進めます。

分野	重点的に展開する施策	具体的な取り組み	主な所管課
全戦略	地域未来投資促進法を活用した取り組み	重点促進区域の検討、設定 県・国との協議	まちづくり推進課
交通戦略	リニア開業効果を波及させる幹線道路網の整備推進	主要道路の改善・整備推進 ゾーン内の主要道路の整備推進	建設課 まちづくり推進課
	公共交通機関の利便性の向上	JR身延線既存駅の交通結節機能の強化	企画課
	持続可能な二次交通の確保	多様な交通手段の確保	企画課 産業課
基盤整備戦略	計画的な市街地整備の推進	地域特性に応じた開発手法の検討 用途地域などの見直し検討 市街化調整区域内既存集落地の適正な土地利用の誘導	まちづくり推進課
	強靱・持続・安全な上下水道事業の推進	中央市新水道ビジョンの改定 市街化調整区域の汚水処理方法の検討	上下水道課
防災戦略	災害に強い防災まちづくりの推進	災害に強い防災体制の整備 浸水想定区域の内水氾濫対策の推進	危機管理課 建設課 まちづくり推進課 産業課
産業振興戦略	立地特性を活かした企業誘致	県内・県外企業の誘致検討 山梨大学医学部附属病院との連携 メディカル・ライフサイエンス関連企業・医療機関の誘致検討 新たな流通・物流ゾーンの形成 水素関連技術の拡大に貢献する企業の誘致検討 大都市圏とのつながりの強化	まちづくり推進課
	農業振興の維持・向上	担い手の確保・育成	産業課
	産業振興の推進	迅速な企業対応とつながりの強化	まちづくり推進課
エネルギー戦略	カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み推進	ESG投資の誘導 グリーンエネルギーの活用推進 GHG（温室効果ガス）吸収源対策の推進	市民環境課 まちづくり推進課
生活環境戦略	暮らしやすい住環境の創出	ウォークラブルな空間の形成 計画的な開発による良好な居住環境の整備 開発需要に応じた公園緑地歩道などの整備	まちづくり推進課
	多様な暮らし方の推進	移住・二地域居住の促進	政策秘書課 まちづくり推進課
観光戦略	にぎわいの創生による交流人口の拡大	商業機能の誘致 リニア山梨県駅からの移動手段の確保 地域特性に応じた宿泊施設の誘致	企画課 まちづくり推進課
	本市の特徴を活かした観光資源の充実・PR	地域資源の活用と新たな観光資源の開発	産業課

